

校長通信「つぶやき」 佐伯市立鶴谷中学校 校長 渡邊和彦

令和6年5月21日 第8号（通算第63号）

○とんび

私にとって「とんび」と言えば「重松清」さんの小説とそれを元に作られた映画「とんび」が最も印象的なものです。号泣しました。映画はサブスクやレンタルDVDでも見るできるので、是非ご覧ください。おすすめです。さて、今日はちょっと困った鳶（あえて漢字で）の問題です。地域の方から、ご連絡を頂きました。本校の育友会の役員を務められたり、自治会や青少年の健全育成に尽力されている、立派な方です。「毎朝のように、塩屋橋の近くで車を止め鳶に餌をやっている人がいる。数羽集まり子どもたちに危険が及ばないか心配だ。地区の住民で買い物袋ごと持って行かれた方もいるそうだ。」という内容。21日火曜日、朝の7:15分頃から確認に行ってみました。対岸から様子を伺っていると三羽ほどの鳶が集まってきて駐車場に停めてある車から何かが路上に撒かれ、（木の陰になりよく見えなかったのですが）一斉に三羽の鳶が、餌と思われるものを採って飛び去っていきました。（人物の撮影はできなかったけど、鳶の様子は撮影できた）「元気校歌」に集まってくれた子どもたちにも聞いてみると数名の子どもから目撃情報がありました。「小学校通学時に見た。」「今朝、見た」と言うことでした。どうか気をつけて欲しいと思います。怪我や被害があつてからだと遅いので。教育委員会と佐伯警察署にも連絡し、対応をお願いしました。具体的にどんな対応が可能なのかわかりませんが、7時15分頃から30分頃まで近くを徒歩通学する生徒の皆さんは注意してください。

城山の石垣清掃

5月18日土曜日の朝9時から城山の石垣清掃がありました。佐伯市教育委員会社会教育課の呼びかけで毎年2回行われています。ボランティア部に登録（登録してないが参加してくれた生徒もいた）している生徒が20名近く集まってくれました。本当に嬉しかったし感心しました。城南中の生徒も、日本文理大の高校生も鶴城の生徒もいました。今年は今まで以上に、ボランティア部の登録、テトルでの告知、参加の確認、等を通じて子どもたちの自発的な善意の取り組みを評価したいと考えています。ありがとう！これからもよろしく！

謎のライン

私の白いパーカーのお腹に、謎の三本の平行線が色違いでついているのに気付いたのは、体育祭総練習の頃だった。赤、青、黒の三色。みぞおちのところからおへそにかけて綺麗に並んでいた。白、赤、緑なら本校のスクールカラーだが、そうではない。以前は謎の粘液だった。今回は三色の線だ。原因がわからないとは、もうろくしたものだ、年齢を呪った。最近になって原因がわかった。首から提げているネームプレートだ。私は癖で（特にスポーツウエアの時によくする）ネームプレートの紐にボールペンをぶら下げる。しかもノック式の。しかも、ペン先が出たまんま。三本もぶら下げていた。みぞおちからへそにかけて腹が出ている。仲良く三本並んだペンは私の腹に、見事な三本ラインを描いていた。ペン先をひっこめるか、腹をひっこめるか、それが問題だ。

To retract the tip of the pens or to retract the belly, that is the question.

有り難う

「小学生が放置したゴミを片付け、小学校に連絡してくれた中学生がいる。」と学校にお電話を頂きました。ご連絡を頂いたことに感謝します。詳細について記述するのはさけますが、要約すると「小学生数名がガシャポンの容器等いろんな種類のゴミを放置した。気付いた中学生が拾って、仕分けて、処分してくれた。ゴミの中から名札を見つけて、該当の小学校にも連絡してくれた。」ということです。本人が判明したので話を聞きました。「ゴミが数種類あったので仕分けました。名札を見つけたのですが自分の卒業した小学校だったので、連絡しました。」との事でした。本人はそう言わなかったけど、卒業生としての誇りや責任を感じました。とても嬉しかった。3年2組、男子バレー部主将、中村徠聖くん、ありがとう！あなたを誇りに思います！